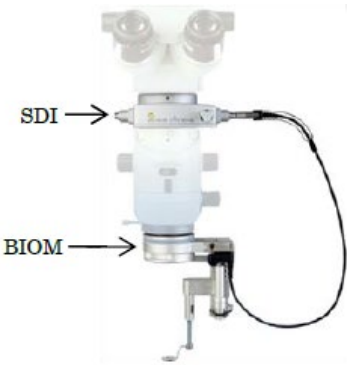


販売名 オクルス 顕微鏡付属品

【禁忌・禁止】

- ・SDI、フットスイッチ、ハンドスイッチ、AC アダプター等の電気部品は滅菌しないこと。
- ・術中に患者の上で本品の組立及び分解を行わないこと。
- ・BIOM を手術用顕微鏡、可搬型手術用顕微鏡又は架台式手術用顕微鏡（以下、手術用顕微鏡等という。）の光路に入れた状態で、手術用顕微鏡等の粗調整ノブやアーム、又は手術台の高さ調節機能を使用して焦点調整を行わないこと。[フロントレンズが被検眼に接触するおそれがある。]

- 【形状・構造及び原理等】
1. 構成
 - － SDI
 - － BIOM
 - － リダクションレンズ
 - － フロントレンズ
 - － フットスイッチ
 - － ハンドスイッチ
 - － AC アダプター
 - － アダプター
 - － 切替ノブ用キャップ
 - － ドライブベルト
 - － スクリューカバー
 2. 電気的定格及び機器の分類
 - 定格電源電圧 ：AC 100V
 - 定格電源周波数：50 / 60 Hz
 - 電源入力 ：6-15 VAC / DC 0.5 A
 - 電撃に対する保護の形式による分類 ：クラスⅡ
 - 水の有害な侵入に対する保護の程度による分類：IP64
 3. 形状、構造
 - 製品毎の寸法及び質量は付属の取扱説明書を参照のこと。



手術用顕微鏡等への取り付け図

4. 原材料
 - (1) SDI：アルミニウム合金及びステンレス鋼
 - (2) BIOM：アルミニウム合金及びステンレス鋼、ステンレス鋼及びチタン、又はプラスチック
5. 動作原理
 - フロントレンズを介して眼底像は倒立像となり、リダクションレンズ及び手術用顕微鏡等の鏡筒を通過して SDI へ垂直方向に入射し、SDI 内部のプリズムにより倒立像が正立像に変換後、手術用顕微鏡等の接眼部へ入射する。

6. 動作保証条件
 - 温度：10 ～ 40℃
 - 湿度：30 ～ 75%
 - 気圧：700 ～ 1060 hPa
- 【使用目的又は効果】
 - 顕微鏡とともに使用し、顕微鏡の機能を追加することを目的とした機器をいう。

【使用方法等】
本品の取り付け可能な手術用顕微鏡等については付属の取扱説明書を参照のこと。

1. 使用前
 - (1) 本装置に損傷又は劣化がないことを目視で確認する。
 - (2) 本装置の一部の構成部品を滅菌する。
 - (3) 本装置を手術用顕微鏡等に取り付ける。
 - (4) 本装置及び手術用顕微鏡等の電源を入れて、本装置の動作確認を行う。
2. 操作方法
 - (1) BIOM を手術用顕微鏡等の光路から外し、手術用顕微鏡等のみを使用して被検眼の角膜又は虹彩に焦点を合わせる。
 - (2) BIOM を手術用顕微鏡等の光路に戻す。
 - (3) フットスイッチ／ハンドスイッチ、又は焦点調節ノブを使用して、眼底に焦点を合わせる。
3. 使用後の処置
 - (1) 本装置及び手術用顕微鏡等の電源を切る。
 - (2) 本装置を手術用顕微鏡等から取り外す。
 - (3) 本装置の一部の構成部品は、付属の取扱説明書に記載した方法に従い分解し、洗浄・消毒・滅菌を実施後、次回使用時まで清潔な状態で保管する。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

1. 本装置の BIOM 一式、リダクションレンズ、フロントレンズ、切替ノブ用キャップは、使用前に必ず滅菌を施し使用すること。滅菌方法等については「※滅菌方法、推奨する滅菌条件」を参照のこと。
2. 本装置は再使用可能である。使用後には必ず BIOM 一式、リダクションレンズ、フロントレンズ、切替ノブ用キャップを滅菌すること。滅菌方法等については「※滅菌方法、推奨する滅菌条件」を参照のこと。

※滅菌方法、推奨する滅菌条件		
構成名称	滅菌方法	推奨する滅菌条件
BIOM 一式 切替ノブ用キャップ	オートクレーブ滅菌	132℃ 4 分 (最大温度 134℃)
	プラズマ滅菌	－
リダクションレンズ	オートクレーブ滅菌	132℃ 4 分 (最大温度 134℃)
	プラズマ滅菌	－
フロントレンズ	オートクレーブ滅菌	132℃ 4 分 (最大温度 134℃)
	プラズマ滅菌	－

【取扱説明書を必ずご参照ください】

【使用上の注意】

1. 本品を移動又は設置するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) 手術用顕微鏡等への本品の取り付け及び取り外しは可能な限り2名で行うこと。
 - (2) SDI を手術用顕微鏡等に設置後、SDI が包装されていたキャリングケース、ダストカバー、及びダストカバー固定ねじ等を廃棄しないこと。[長期間使用しない場合や修理返送等、本品を安全に保管・輸送するために使用する。]
2. 本品をクリーニング、消毒、又は滅菌するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) クリーニングは【保守・点検に係る事項】1. クリーニング の項に従って行う。
 - (2) 強酸・強アルカリ、塩素系の洗剤や、磨き粉、金属タワシ等を使用しない。[本品の変色や損傷を引き起こすおそれがある。]
 - (3) 滅菌前には必ずシリコンオイルを含まない潤滑剤を可動部分に塗布すること。
 - (4) オートクレーブ滅菌にはミネラル水を使用せず、ろ過水を使用すること。[ミネラル成分が製品表面に付着し機能低下を引き起こすおそれがある。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
温度：－40 ～ 70℃
湿度：10 ～ 100 %
気圧：500 ～ 1060 hPa
2. 耐用期間、使用期限
新規購入後 7 年（自己認証（当社データ）による）

【保守・点検に係る事項】

1. クリーニング

名称	作業者	頻度	方法
SDI	使用者	適宜	外装 静電気防止効果のある洗剤をしみ込ませた柔らかい布で清掃する。 汚れがひどい場合は、アルコールと蒸留水を均等に混ぜた溶液と市販の洗剤を少量しみ込ませたクロスで拭き取る。 レンズ 柔らかい布又はレンズブラシで清掃する。必要に応じてアルコール又はレンズクリーニング剤を併用すること。
BIOM の外装	使用者	使用毎	同上
レンズ類	使用者	使用毎	同上

2. 使用者による保守点検事項
具体的な点検事項は、付属の取扱説明書を参照のこと。
3. 業者による保守点検事項
弊社の定期点検を、1 年に 1 回受けること。
具体的な点検事項は、付属の取扱説明書を参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者：ライカマイクロシステムズ株式会社
製造業者：Leica Instruments (Singapore) Pte. Ltd. (シンガポール)